



写真：オヒョウニシの樹皮採取



国民の森林・国有林

林野庁北海道森林管理局

「大きな爪痕を残した自然災害」 国有林林道のこれまでの復旧と今後について

昨年の夏、北海道に相次いで襲来した台風7号、9号、10号、11号がもたらした一連の大雨による河川の氾濫や浸水により、道内の道路や農地は甚大な被害を受けました。

国有林林道においても被災状況は深刻であり、全道で被災した路線数は、軽微な被災を含めると全路線の約40%にあたる約1600路線に達し、被災箇所数は約2100箇所、被害金額は約17億5千万円に及びます。

今春から本格的な復旧工事を始めており、今年度は47路線73箇所を復旧を予定しています。

台風10号の影響により、

被災後、橋があった箇所は川幅が大きく広がり、河川の一部になっています。

8月30日に集中豪雨が発生しました。この豪雨によって、金の沢林道を横断して流れるルーマンソラプチ川が増水し、金の沢橋（S44竣工・橋長20・50m）が崩落して流出しました。

既設の橋の補修は困難なことから、来年3月までの工期で新設を予定しており、平成30年からの利用開始を予定しています。

復旧事例 1

河川が増水して崩落した橋を復旧

金の沢林道災害復旧工事
所在市町村：南富良野町



■被災前 金の沢橋竣工時（昭和44年完成当時）



■被災後 増水により橋が完全に流出（下流部から撮影）



■被災後 約200m下流に流された橋台部



■被災後約100m下流に流された橋梁部



■復旧後のイメージ 金山橋（恵庭市国有林H28竣工）

復旧事例2

河川が増水して決壊した 林道を復旧

石山北清水林道災害復旧工
事
所在地市町村：清水町

台風10号の影響により、
8月30日から31日未明に
かけて集中豪雨が発生しま
した。この豪雨によって石
山北清水林道沿いに流れる
ペケレベツ川が増水して道
路を侵食し、約45mにわた
って林道が決壊する被害が
発生しました。

復旧方法については、盛
土だけでは道路が造成でき
ないこと、今後、同様の豪
雨があった場合に土石流等
の発生が予見されることか
ら、コンクリート擁壁を設
置して路体の安定を図るこ
とにしました。

今年の春先に復旧工事に
着手しており、秋頃の完成
を見込んでいます。利用開
始は平成30年を予定してい
ます。



■復旧イメージ草笛林道災害復旧工事（千歳市 H28 年竣工）



■被災後、河川が増水で浸食された林道

これまでの復旧概要と 今後の復旧計画について

北海道森林管理局では、
台風災害が発生した後、被
災地点の奥に取水施設があ
る林道など、地域の住民の
方の生活に直結する林道を
最優先で復旧してきました。

また、林道が被災して、
車両の通行ができなくなる
ことによって、森林の手入
れができず公益的機能の発
揮に支障が生じたり、間伐
等に遅れが生じて木材供給
に影響を与えたりなど、林
道本来の目的が果たせなく
なり、地域に与える影響は
少なくありません。

今後、森林整備に遅れを
生じさせないよう災害復旧
事業を本格化させて、林道
の復旧に取り組んでいく考
えです。

昨年の被災規模は過去経
験したことがないほど大き
く、復旧には長い年月がか
かることが想定されます。
皆様のご理解とご協力を
お願いいたします。

なお、被災した林道のう
ち、登山口に至る林道につ
いては、安全確保のため、
車両の乗り入れはもとより、
徒歩での入山も遠慮いた
だいている場合があります。
詳しくは、管轄する各森林
管理署にお問い合わせ願
います。

また、北海道森林管理局
ホームページにおいて、林
道の通行規制（規制中・規
制解除）の状況について、
お知らせをしておりますの
でご利用下さい。

通行規制している 主な山岳等

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

- 日高町 沙流岳・ペンケ
又ーシ岳 等
- 夕張市 夕張岳
- 上川町 沼ノ原・石狩岳
五色岳
- 美瑛町 三川台・扇沼山
- 清水町 芽室岳
- 帯広市 十勝幌尻岳
- 大樹町 ペテカリ岳
- 上士幌町 ウペサンケ山
ニベソツ山 等
- 新得町 十勝岳東大雪ル
ート・又プント
ムラウシ温泉等
- 北見市 武華岳
- 南富良野町 夕張岳（金山
側）
- 足寄町 クマネシリ岳・
南クマネシリ岳

（森林整備第二課）



コンテナ苗による造林コストの縮減に向けた取組

地域課題の解決に向けた取組

網走南部森林管理署

網走東部流域の民有林

においては、市町村森林整備計画実行管理推進チーム等により、伐採後の造林未済地の解消に向けた対策への取組が行われています。しかしながら、植栽等による伐採跡地の更新が行われていない箇所が散見され、造林未済地が減少していない現状にあります。

このため、造林の作業工程や育林コストの縮減により、森林所有者の造林意欲の向上を図り、再造林を推進することが地域全体の課題となっています。

コンテナ苗による造林コスト縮減に向けた取組

苗木の植付や育林における初期段階のコストを

縮減するため、コンテナ苗が注目されています。



コンテナ苗(トドマツ)

コンテナ苗のメリットとしては、①これまでの苗木と異なり根が培土に覆われているため、植栽適期の拡大が可能、②パレットに乗せたまま運搬が可能、③形状が均一で活着がよい、④機械化された工場生産による育苗が可能、などがあります。これらにより、作業工程の縮減やそれに伴うコストの縮減等が期待されています。

コンテナ苗の普及推進

コンテナ苗の植栽には専用の器具があります。多くは外国製で、筐の根や石礫の有無など作業条件により使用できないものもあり、重量も大きいことから、当署では地域の作業条件に合ったコンテナ苗植付器具の改良や作業工程改善に向けて取り組んできました。



改良した植付器具

関係機関等と連携して、どのような場所でも使用でき、根鉢の形状に合わせた植穴が掘れるように改良を行った結果、従来のものよりも、軽量かつ安価な植付器具を製作しました。植付試験を行った結果、作業時間を

大幅に短縮することができたところでした。こうした取組については「北の国・森林づくり技術交流発表会」や「北海道森づくり研究成果発表会」などで報告を行いました。

このほか、民有林でのコンテナ苗植栽時に改良した植付器具等の説明や技術指導・支援を行い地域への普及に取り組んでいます。



民有林での植栽

また、現状ではコンテナ苗の生産コストは今までの苗木生産と比較して高いことから、コンテナ苗の生産業者と意見交換を行い、生産性分析等によりボトルネックの解消に向けて情報共有を図っています。

林業全体の低コスト化に向けて

当署においては、伐採・搬出から植栽までを一連で行う一貫作業システムの実施を通じて、コンテナ苗等の取組による造林の低コスト化、伐採搬出の生産性向上に取り組んでいるところであり引き続き、地域の現状にあった林業全体の低コスト化に向けて関係機関と連携を図りながら地域の課題解決に向けて取組を推進していく考えです。

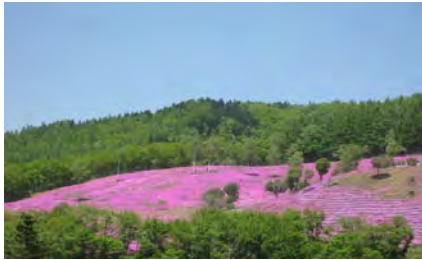
こんにちは 森林官です!

網走西部森林管理署
西紋別支署
北雄森林事務所
森林官 山中 泰広
森林官補 海老沼 ちひろ



当事務所は、北海道の北東部、滝上町にある国有林のうち、市街地にほど近い約7,700ヘクタールを森林官1名と森林官補1名で管理しています。

滝上町と言えば、有名な芝ざくらですね。ピンク色の絨毯が山を覆い尽くす景色は美しく、町外からも毎年沢山の方が訪れますが、滝上町は森林率が90%を超える林業の町でもあります。写真の芝ざくら滝上公園の上に見える森林は、当事務所の管轄する国有林です。



芝ざくら滝上公園と国有林

◇伐って植える◇

ここからは、当事務所の普段の仕事について、紹介します。西紋別支署は道内でも

木材生産量の多い署であり、平成29年度は2万5千m³の素材生産を予定しています。当事務所でも、間伐や主伐期を迎えた人工林の带状皆伐（誘導伐）などの事業を行っています。

まずは、伐採です。実際の伐採作業は民間の造材業者が行い、森林官は事業の監督を行います。主伐期を迎えた40年〜60年生の木は太く、重機を用いた作業は、非常に迫力があります。



带状皆伐地の地拵後の様子

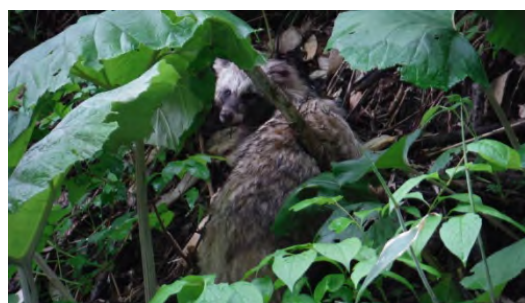
皆伐の場合は、伐採した跡に造林の作業を行います。近年は、造林の作業も増えてきており（平成29年度は約55ha）、地域でも作業の省力化

と低コスト化が課題になっています。そこで、当事務所では、それらの課題解決に向け、低密度植栽試験地を設定しています。低密度植栽試験地では、昨年度、苗の間隔や列の間隔の異なるいくつかの区画に植栽を行い、ha当たりの植栽本数を千本〜2千本まで、4つに区分して植え付けました。今後は成長の比較などを行っていく予定です。こうした試験的な試みは、初めてのことがばりなので、試行錯誤しながら進めている状況ですが、新しい技術に触れる新鮮さ、面白さもあります。

◇林道の管理◇

林道の維持・管理も大切な仕事のひとつです。昨年は、北海道に3つの台風が上陸しましたが、当事務所でも林道を中心に大きな被害を受けました。災害の時は、迅速に被害状況を確認することが必要なため、日頃から、壊れやすい箇所を把握したり、排水設備の手入れをしたり、こまめに林道を見て回っています。

巡視の最中には野生動物に出会うこともあり、そんなときは、大自然の中で働いていることを実感しつつ、可愛い姿に癒やされます。



林道で出会ったエソタヌキ

◇おわりに◇

現代の生活では実感することが少ないですが、森林には様々な恵みがあります。できるだけ沢山の方々が、それらの恩恵を受けられるように、地域の豊かな森林を守り、活用しながら、次世代に伝えていくこと。そのために技術を磨き、地域の声に耳を傾けながら、これからも日々の業務に励んでまいります。



知床森林生態系保全センター

今回は、数ある会議の中から「河川工作物アドバイザー会議（河川ＡＰ）」における課題や取り組みを紹介いたします。

この会議は知床世界自然遺産地域科学委員会の下に、急務の課題に対応するため設置されたものです。委員（研究者などの専門家）、関係行政機関、地元自治体、事務局から成り、北海道森林管理局は事務局として会議の運営等を行っています。年に二回程度開催されます。

《課題》

この会議は、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界遺産委員会において指摘された事項のうち、「世界遺産地域内の河川をより自然に近い形にすること」という課題を扱っています。

具体的には、河川の流れの変化やサケ科魚類の遡上と産卵を妨げないよう、ダムと橋を改良するか撤去するよう求められています。

《取り組み》

まず、ダムについては、ダム的一部分を取り除いて改良することを検討しています。会議では、取り除く位置や手法等を議論しています。ダムには、土砂流出を防ぐなどの防災機能があります。ダムの防災機能を維持しつつ、自然に近い形に戻すことを目指しています。



川を遡上するカラフトマス

しかし、改良工事には時間がかかります。そこで、応急措置として、ダムの下流に石を積むことで、魚が遡上しやすい環境を作りました。

橋については、橋の代わりに「河床路（かしょうろ）」を導入することが案の一つとなっています。これは、河川の浅瀬を車両が通行するものです。橋があると、河川



ダムと石積み

の形が自然に変化することを妨げてしまうため、このような手法を検討しています。こちらも検討段階であり、これからも試行を重ねて、より良い方法を議論して参ります。

《地域の方々とともに》

なぜ、橋を撤去するだけではなく、代わりが必要なので

でしょうか。それは、橋を利用する地元の方々がいるからです。知床が世界遺産になるずっと前から、知床の自然と共存し、生活しています。こうした地域の方々が理解して納得できるよう、丁寧に説明していくことも大切な仕事です。



ルシャ川に架かる橋

これからも、多くの方々と協力しながら、知床の自然をより良い形で保全するために尽力して参ります。

各地からの便り

浦河町立浦河小学校木工体験学習での作品です

みんなで森林づくり よみがえれ野幌の森

【石狩地域森林ふれあい
推進センター】

6月21日、野幌国営森林
において「野幌の森」下
刈りを実施しました。

野幌森林公園は、平成
16年の台風により、多く
の樹木が被害を受け、そ
の森林を再生するため
「百年前の原始性が感じ
られる森林」を目標に『み
んなで森林づくり』よみ
がえれ！「野幌の森」と
題して市民のみなさんと
協働で野幌の森の再生を
進めています。

今回の下刈りは、10回
目の開催となり、ケガも
なく無事終えることがで
きました。



参加されたみなさんお疲れ様でした

浦河町立浦河小学校 木工体験学習

【日高南部森林管理署】

6月23日、浦河町立浦
河小学校にて日高振興局
森林室とともに「木工体
験学習」を開催しました。
森林についての説明や
コースター作り、丸太切
り体験を行いました。こ
の機会を通して、森林の
大切さや木工の面白さを
知っていただけたと思い
ます。

「北のじみの森林 びんご」教室を開催

【留萌北部森林管理署】

6月27日、天塩町立天
塩小学校3年生を対象に
開催しました。この取組
は、風害や潮害から農産
物を守るための防風保安
林を引き継いでいくこと
を目的としています。

森林官による「森のは
たらき」について講義を
行った後は、ドングリの
苗木をポットから移す作
業を行いました。次は、
秋に植樹を行う予定です。

木質バイオマスに 関するシンポジウム

【上川南部森林管理署】

6月29日、南富良野町
と上川南部森林管理署の
共催で「木質バイオマス
に関するシンポジウム」
に木質バイオマスを活用し
た地域創生を考える」
が行われました。地域住
民や行政関係者など約180
名の参加者で賑わいまし
た。



会場の様子

森林総合研究所の久保
山氏の講演やパネルディ
スカッションが行われま
した。地域材の活用をベ
ィスに石油燃料の代替が
可能な基盤作りの実現が
ど南富良野町への期待が
高まる意見交換が繰り広
げられました。

表紙の解説 オヒョウニシの 樹皮採取

【日高北部森林管理署】

6月13日、南富良野町
内の国有林において、平
取町と二風谷観光振興組
合の職員とともにアイヌ
の伝統的衣装「二風谷ア
ウトウシ」の原料となるオ
ヒョウニシの樹皮採取を
行いました。



アイヌ民族
伝統的衣装
「アットウシ織」

本誌の表紙は幹の根元
に入れた切り込みの跡か
ら樹皮を剥いだ段階の写
真です。

また、オヒョウニシの
育成技術は確立されてお
らず、原材料の安定供給
が難しいことから今回、
採取木の年輪調査も併せ
て行ないました。

カルチャーナイト 2017



1. 主旨

主に札幌市内の公共施設等を夜間に開放し、各施設が持っている専門分野や特色を生かした文化プログラムを市民に提供する「カルチャーナイト」を北海道森林管理局においても以下のとおり開催します

2. 開催日時

平成29年7月21日(金) 17:00~20:30

3. 開催場所

北海道森林管理局 1F ウッディホール

(札幌市中央区宮の森3条7丁目70番)

4. 内容

当庁舎のウッディホールにおいて、以下のとおり木工教室やパネル展を実施します

- ・木のタネの模型づくり
- ・木のコースターづくり
- ・おがくず粘土細工(もくねんさん)
- ・森のしごと漫画展

カルチャーナイト2017 会場とメニューのご案内

もくねんさん
おがくずまで粘土細工で好きなものをつくってみよう!
所要時間: 50分
定員: 各回10名
※「もくねんさん」の題材でツールをもちってください
① 17:15~
② 18:15~
③ 19:15~

木のコースターづくり
木の輪切り板に熱を帯びて自分だけのコースターをつくろう!
所要時間: 20分程度
いつでも参加OK

木のタネの模型づくり
形のちがうタネをつくって飛ばしてみよう!
所要時間: 20分程度
いつでも参加OK

休憩スペース
★木のぬもちっであそべます

森のしごと漫画展

木のタネの模型づくり

正面玄関
総合受付(案内)

パネル展示
森のしごと漫画展
広報紙「林野に掲載されていた林業漫画「お山八画」を展示
林業のウラ話をあつめるかも?
※内容などを一部変更する場合があります。

北海道森林管理局

—お問い合わせ先— 技術普及課
担当: 大塚 011-622-5245

夏休み子ども見学デー

食べ物や環境について、見て、さわって、体験しよう!
自由研究のテーマにもできるよ!

参加無料

日時 7月27日(木) 9:30~15:00

2017年7月28日(金) 9:30~15:00

場所 北海道森林管理局

(札幌市中央区宮の森3条7丁目70番)

—お問い合わせ先— 技術普及課 011-622-5245

体験コーナー&
クイズもあるよ!

プログラムの詳細は、ホームページを見てね!
<http://www.maff.go.jp/hokkaido/press/>

トラクターに
のってみよう

もみすり&お米に
ついて学ぼう!

さとうの
ひみつ

きぼうの
プール

折り紙で野菜
を作ろう!

北海道農政事務所 わくわく 子ども

検索

山のお仕事

食事バランス
ガイド輪投げ

木のコースター&
おがくず粘土工作

乳しぼり・イカスミ・魚拓・書道
・野菜袋詰め&出荷体験

広報 「北の森林 国有林」7月号
発行 北海道森林管理局
編集 総務企画部 企画課
〒064-8537 札幌市中央区宮の森
3条7丁目70

I P 電話 050-3160-6300

電話 011-622-5213

F A X 011-622-5194

<http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

行事・イベント情報

8月11日(金曜日)

北海道森林スポーツフェスタ 2017in おたる
(小樽市天狗山 おたる自然の村)

—お問い合わせ先—

技術普及課 011-622-5245